

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年2月14日(2025.2.14)

【国際公開番号】WO2023/248976

【出願番号】特願2024-529002(P2024-529002)

【国際特許分類】

C 0 8 F 20/26(2006.01)

C 0 8 F 265/06(2006.01)

G 0 3 F 7/004(2006.01)

C 0 7 C 67/04(2006.01)

C 0 7 C 67/343(2006.01)

C 0 7 C 69/54(2006.01)

G 0 2 B 5/20(2006.01)

C 0 8 F 290/12(2006.01)

10

【F I】

C 0 8 F 20/26

C 0 8 F 265/06

G 0 3 F 7/004 5 0 5

C 0 7 C 67/04

C 0 7 C 67/343

C 0 7 C 69/54 Z

G 0 2 B 5/20 1 0 1

C 0 8 F 290/12

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月18日(2024.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

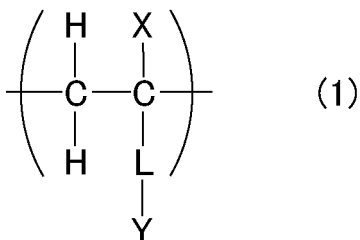
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(1)で表される構造単位(A)を有することを特徴とする重合体。

【化1】



40

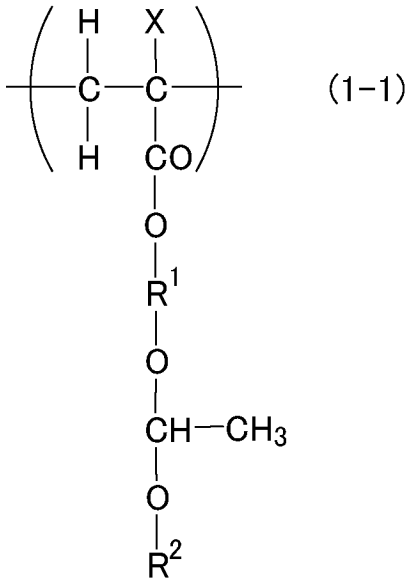
(式中、Xは、水素原子又はメチル基を表す。Lは、直鎖状又は分岐鎖状の2価の有機基を表す。Yは、酸又は熱により分解し、重合体側鎖にビニルエーテル基を生成する有機基を表す。)

【請求項2】

前記構造単位(A)は、下記式(1-1)で表されることを特徴とする請求項1に記載の重合体。

50

【化 2】



10

(式中、Xは、水素原子又はメチル基を表す。R¹は、直鎖状又は分岐鎖状の2価の有機基を表す。R²は、炭素数1～20の有機基を表す。)

【請求項3】

20

更に、酸基含有構造単位(B)を有することを特徴とする請求項1に記載の重合体。

【請求項4】

更に、主鎖に環構造を有する構造単位(C)を有することを特徴とする請求項1に記載の重合体。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかに記載の重合体、及び、極性溶媒を含むことを特徴とする重合体溶液。

【請求項6】

請求項1～4のいずれかに記載の重合体と、塩基性分散剤及び/又は塩基性化合物とを含むことを特徴とする重合体用溶液。

30

【請求項7】

請求項6に記載の重合体用溶液と、色材とを含むことを特徴とする色材分散液。

【請求項8】

請求項1～4のいずれかに記載の重合体と、重合性化合物と、光重合開始剤及び/又は光酸発生剤とを含むことを特徴とする感光性樹脂組成物。

【請求項9】

カラーフィルター形成用であることを特徴とする請求項8に記載の感光性樹脂組成物。

【請求項10】

請求項8に記載の感光性樹脂組成物を硬化してなることを特徴とする硬化物。

【請求項11】

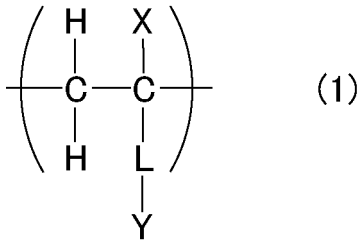
40

下記式(1)で表される構造単位(A)及び酸基含有構造単位(B)を有する重合体の製造方法であって、

該製造方法は、酸又は熱によりビニルエーテル基を生成する基を含有する単量体、及び、酸基含有単量体を含む単量体成分を重合する工程(P-1)を含むことを特徴とする重合体の製造方法。

50

【化 3】



(式中、Xは、水素原子又はメチル基を表す。Lは、直鎖状又は分岐鎖状の2価の有機基を表す。Yは、酸又は熱により分解し、重合体側鎖にビニルエーテル基を生成する有機基を表す。)

10

【請求項 1 2】

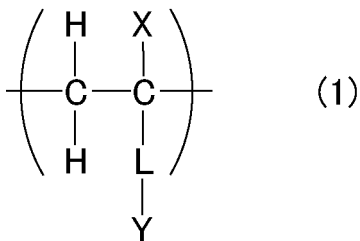
下記式(1)で表される構造単位(A)及び酸基含有構造単位(B)を有する重合体の製造方法であって、

該製造方法は、酸又は熱によりビニルエーテル基を生成する基を含有する単量体、及び、水酸基含有単量体を含む単量体成分を重合する工程(Q-1)、及び、

該工程(Q-1)で得られた重合体に、酸基含有化合物を反応させる工程(Q-2)を含む

ことを特徴とする重合体の製造方法。

【化 4】



20

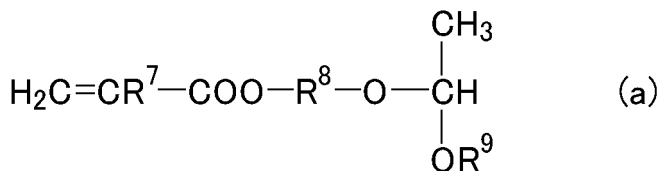
(式中、Xは、水素原子又はメチル基を表す。Lは、直鎖状又は分岐鎖状の2価の有機基を表す。Yは、酸又は熱により分解し、重合体側鎖にビニルエーテル基を生成する有機基を表す。)

30

【請求項 1 3】

下記式(a)で表されることを特徴とする単量体化合物。

【化 5】



(式中、R⁷は、水素原子又はメチル基を表す。R⁸は、直鎖状又は分岐鎖状の2価の有機基を表す。R⁹は、炭素数1~20の有機基(但し、(メタ)アクリロイル基を含む基を除く。)を表す。)

40

【請求項 1 4】

下記式(a-1)で表される単量体化合物の製造方法であって、

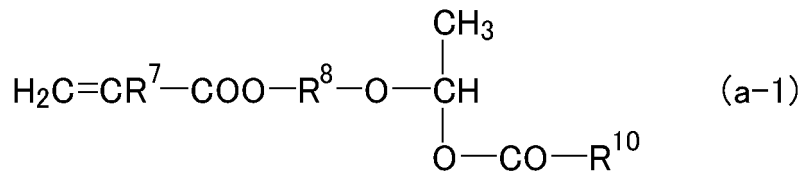
該製造方法は、ビニルエーテル基含有(メタ)アクリレート化合物とカルボン酸化合物とを反応させる工程を含み、

該反応工程において、該カルボン酸化合物の使用量が、該ビニルエーテル基含有(メタ)アクリレート化合物のビニルエーテル基1当量に対して1当量以上である

ことを特徴とする単量体化合物の製造方法。

50

【化 6】



(式中、 R^7 は、水素原子又はメチル基を表す。 R^8 は、直鎖状又は分岐鎖状の2価の有機基を表す。 R^{10} は、水素原子又は炭素数1~20の有機基(但し、(メタ)アクリロイル基を含む基を除く。)を表す。)

10

20

30

40

50